

福祉の店販売促進事業【鳥取県:倉吉市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【福祉分野】

福祉の店は鳥取県の中部地区18の授産施設、作業所、障がいのある方の関係団体で構成されており、平成12年に設立しました。販売実績も年々、少しずつですが増加しています。

昨年6月から倉吉市役所、今年度から鳥取県中部総合事務所で出張販売をしています。また、ショッピングセンターや各種イベントの時に来店しています。

今回、ふるさと雇用再生特例基金事業で、障がいのある方を2名雇用し販売促進を実施していますが、まずは接客業務を経験してもらい、次のステップにつなげていきたいです。



中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

事業概要

障がいのある方の授産施設等で作られた、食品・農産物・手芸品等を福祉の店で販売する。障がいのある方を雇用し販売促進等を行う。

委託先

中部地区福祉の店振興協議会

新たな 雇用創出数

2人

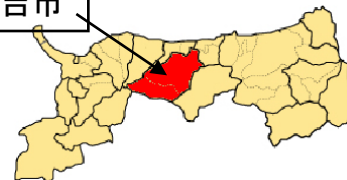
事業費

2,234千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

倉吉市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
倉吉管内 0.39倍(原数値)

業務内容

月曜日から金曜日に福祉の店で食品・農産物・手芸品の物品の販売補助

倉吉市役所や鳥取県中部総合事務所、ショッピングセンターや各種イベントの時の出張販売での販売の補助

福祉の店チラシをパソコンで作成し、出張販売の時等にPR



《 シビックセンターたからや内にある福祉の店 》

障がいのある職員

以前の仕事と全然ちがう販売の仕事ですが、お客さんとのふれあいは楽しいです。(山下さん)
これまで、営業をしてきましたが、店の販売の仕事ははじめてです。楽しみながら自分のペースで仕事をしています。お客様にも声をかけたりして接客に心がけています。(本田さん)

市役所に毎週金曜日に販売にいきますので、皆さん買ってくださいね!



福祉の店の販売、PR担当
山下真吾さん

買っていただいたリピーターのお客様から声をかけてもらった時間が嬉しいです。



福祉の店の販売、PR担当
本田経嗣さん

先輩職員からの声

今までの手書きの経理から、本田さんにはパソコン経理をしてもらい助かります。山下さんには、販売の他に清掃をしてもらい、きれいな店でお客様から喜ばれています。お客様に接するなかでいろいろな経験をして幅広い活躍を期待しています。



今後の姿と課題

障がいのある方の就労の場をひろげていくとともに福祉の店の益々の販売促進につなげていければと思います。

中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

毎週楽しみにしています。
クッキーやクレープを良く買います。地域のおばちゃんも、野菜等を買いによく来られるそうです。



福祉の店は食品、農産物、手芸品等いろいろと品揃えをしています。おすすめは「打吹うどん」です。倉吉市のシンボル打吹山に伝わる天女伝説の羽衣をイメージに創作された、いままでになかった新しい食感のうどんです。

《市役所で出張販売をしています!》

まるで天女の羽衣の食感!
鳥取県知事も大絶賛!!